

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：通院困難な高齢者を対象とした口腔健診事業</p>
<p>2. 申請者名：社団法人 西宮市歯科医師会 会長 澤 田 隆</p>
<p>3. 実施組織：社団法人 西宮市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>西宮市歯科医師会では通院不可能な高齢者の生活習慣と口腔内 状態の健康診査を行って口腔機能状況を把握し、その保持、改善を図り、地域支援事業における口腔機能向上プログラムにフィードバックすることを目的として本事業を展開する。</p> <p>本事業の充実により、口腔の健康維持・増進支援サービスが介護度の重度化を防止することを検証するとともに、居宅および介護施設におられる通院困難な高齢者など特定高齢者へのタイムリーな支援策を立案実施することができる。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>西宮市では人口の約 13%に相当する、約 61,000 人の方が 70 歳以上の高齢者であり、そのうち通院困難な方および寝たきり高齢者の口腔機能の状況は明らかでない。そこで、居宅および介護施設における通院困難な高齢者の口腔内状態を実態調査する。本事業は、西宮市歯科医師会の会員が患者および施設を訪問し口腔内診査（DMF・義歯使用の有無・摂食嚥下状況 ADL 等）・保健指導・保健相談を実施するものである。</p> <p>この実態調査に基づき、口腔ケアを推進するとともに、治療の機会に恵まれない在宅患者の口腔機能の保持を図り、在宅患者の QOL を高め、介護度の重症化抑制に対する効果を検証する。</p> <p>今回の在宅高齢者の実態調査は今後の事業展開に求められる具体的かつ建設的な指標をも得ることができる。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>本事業は、平成 21 年 1 月から試行し、本年度から本格実施しているものである。従って、事業の主旨等についてチラシの配布等 PR に努めたものの、市民になかなか周知されず、平成 21 年 4 月～12 月までの実施件数は 4 件にとどまっている。こうした中で、当市医師会の地域医療担当者との連携を図ることができ、徐々に市民にも周知され、平成 22 年 1 月～3 月までで 12 件、合計 16 件の実施となった。</p> <p>在宅患者には介護度の高い高齢者も多数見受けられたが、一方では若干自立可能な高齢者も多く、このような高齢者に対して、歯科健診、保健指導を切り口に口腔機能回復のための必要な治療を行うことにより、摂食嚥下行動を通じて精神的、身体的な活発さを取り戻せる高齢者も見受けられた。今回の健診では受診者が少なかったが、歯科健診、保健指導という刺激的動機付けが、受診者に口腔機能の保持の重要性を認識させ、その結果 QOL の向上に効果がある傾向が伺えた。</p> <p>今後は、口腔を通じての摂食嚥下が寝たきりになる前の高齢者に対して生活機能を保持するのに有効という観点から、一般医科在宅療養支援診療所とタイムリーかつ密接な連携を図っていきたい。</p> <p>さらに、本事業の意義等について、市の理解を求め、市との連携の下、地域保健事業の一環として、本事業を明確に位置づけた実施を展開したい。</p>